



素敵に 生きよう

Vol.61

寄りそい、つながる 人と人

(平成24年度 人権施策テーマ)

「人権」について常日頃から意識して生活していくことは、皆さん一人ひとりの心のあり方に密接にかかわっています。そのため市では、市民やNPOの自主的、自発的な活動を尊重し促進できるよう、応援しています。

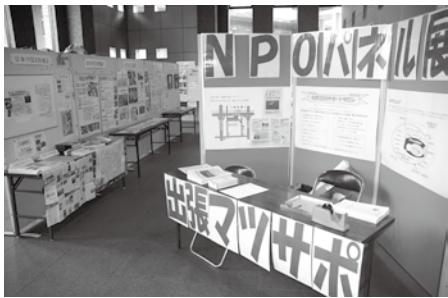
たとえば、人権や自尊感情、エンパワーメントに関するさまざまな情報を収集し、幅広く提供することや、各種相談などにかかわる多くの関係機関やNPOとの横断的な連携を深め、総合的な支援ができるように取り組みを進めています(参加して楽しく学ぼう！人権の講座) 16ページ参照、「母親のためのピアサロン」コ・カフェ」17ページ参照)。

地域の中で協働

市では「対話と交流」を大切にしながら、共通の課題解決に向かって、みんなが互いを尊重し、それぞれの役割と責任を担いながら地域を支え

ていくことを目指しています。そして、学校または市が取り組む人権に関する事業を市民、NPO、社会福祉事業所、および企業などと協働しています。

先月は市役所市民ロビーにて「出張マツサポNPOパネル展」(写真)を行いました。マツサポは河内松原駅前のゆめニティまつばら3階にある「松原市市民活動サポーターサロン」の通称です。マツサポではNPOが行う市民公益活動に関する情報共有とネットワーク化を進めており、パネル展ではマツサポに登録された各団体の活動紹介をしました。



「つながる 人と人」がキーワード

7月23日から「つながる 人と人」パネル展を開催し、「幼稚園児と高校生とおとな」による絵の展示を行います(29ページ参照)。おとなのアーティスト、宗本智之さんは筋ジストロフィーという病を抱える身体で点描画を生み出しているアーティストです。「人は外出できなくても、直接会わなくても、年齢を超えてつながることができる」可能性を見い

だせる展示になればと考えています。夏休みに子どもたちにはぜひ見てもらいたいパネル展です。

市では、人に優しい施設や道路があるまち、声をかけ合える安心感のあるまち、自殺や事故・犯罪および災害によるけがなどのない安心で安全なまち(セーフコミュニティ)を目指して、このまちに住みたいと望む人が増え続けていくよう努めています。

人権尊重のまち・松原市のイメージ

- 『知る』ことの大切さを理解している！
～風評被害・偏見・差別のないまち～
- 誰もがつながっている！～絆・支えあいのあるまち～
- 誰もが暮らしやすい！～心が通い合う、安心・安全なまち～
[松原市人権施策行動計画改訂版]より

市では「松原市人権尊重のまちづくり条例」「松原市人権施策基本方針」、そして平成19年1月に「松原市人権施策行動計画」、平成24年3月に「松原市人権施策行動計画改訂版」を策定し人権施策を進めてきました。

「人権尊重のまち・松原市」の実現に向けて、次の10の視点をもって取り組みをすすめていきます。

— 人権施策の10の視点 —

- (1)お互いの人権を尊重しあう
- (2)人権に関する法律や条約等を理解し、日常生活に活かす
- (3)多様性を認めあう、多文化共生の地域社会をめざす
- (4)市民やNPOの自主的、自発的な活動を促進する
- (5)市民やNPO、社会福祉事業所や企業、学校や行政などが地域の中で協働して取り組む
- (6)より多くの人々が参画できる
- (7)情報とネットワークを大切にする
- (8)人権擁護につとめる
- (9)個人情報適切に取り扱うことにつとめる
- (10)人権・命を大切にする、安心で安全なまちづくりを進める

ニュース 情報 福祉 保険年金 健康 安全 子育て 消費生活 その他 健康のひろば 子育てのページ 各種相談 養育に 歴史 ウォーク ぼっくす イベント スポーツ 図書館 地域交流 みんなの広場 イベント